



奈良市子ども会議報告書

2015

奈良市
子ども政策課

目次

I	奈良市子ども会議の概要	1
1	奈良市子ども会議について	1
2	奈良市子ども会議開催状況	1
3	ファシリテーター	1
4	子ども参加者	2
5	サポーター	3
II	奈良市子ども会議の開催	4
1	奈良市子ども会議の内容	4
2	奈良市子ども会議の様子	8
3	振り返りシート集計結果	15
4	アンケート集計結果	21
III	奈良市子ども会議で出された意見	25
1	奈良市子ども会議意見書	25
2	その他の意見	37
IV	意見書に対する答え	40

別冊資料

- 平成27年度奈良市子ども会議 意見書（原本の写し）



I 奈良市子ども会議の概要

1 奈良市子ども会議について

奈良市では、子どもたちが、今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるような、子どもにやさしいまちづくりを目指して「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、平成27年4月から施行しました。

奈良市子ども会議は、この条例の規定に基づき、子どもの意見表明や参加を支援するための取組で、この会議に参加する子どもたちが子どもにやさしいまちづくり等について話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的としています。

また、提出された意見に対しては奈良市としての回答を作成し、公表することとしています。

2 奈良市子ども会議開催状況

(1) 開催日・テーマ・参加人数

回	開催日	テーマ	参加人数
第1回	平成27年7月28日（火）	「仲間と出会い、奈良を見つめる」	40人
第2回	平成27年8月 4日（火）	「市長に提案するテーマをさがそう！ 選ぼう！」	33人
第3回	平成27年8月 6日（木）	「市長に提案するテーマについて語り合おう！」	32人
第4回	平成27年8月18日（火）	「テーマを深めよう！私たちが できること、市ができること」	35人
第5回	平成27年8月20日（木）	「市長への意見書を完成させよう！」	40人
—	平成27年8月25日（火）	市長への意見報告会	31人

(2) 開催時間・場所

開催時間	午前10時から正午まで。
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室

3 ファシリテーター

◇ 浜田 進士 （特定非営利活動法人子どもの権利条約総合研究所）

（アシスタント）

佐野 岳章 （ひと結び） ※ 第1回、第2回奈良市子ども会議に参加。

和田 憲明 （NPO法人ファザーリング・ジャパン関西）

※ 第1回、第4回奈良市子ども会議と意見報告会に参加。

4 子ども参加者

10歳から17歳までの子どもを対象に、公募等により募集し、42名の子どもが参加しました。（応募受付順・敬称略）

	氏名	学校／学年	性別		氏名	学校／学年	性別
1	くわた みほ穂 倉田 美穂	鼓阪小学校 5年	女	22	かわべ みほこ 川邊 美帆子	鳥見小学校 6年	女
2	おだ てつや 小田 哲也	春日中学校 1年	男	23	ほりた あずさ 堀田 梓	佐保小学校 6年	女
3	うらかわ たいち 浦川 太一	常解小学校 5年	男	24	おかもと りゅういち 岡本 竜一	大和広陵高等学校 1年	男
4	ふじもと レイナ 藤本 レイナ	三笠中学校 2年	女	25	いばらき めぐ 茨木 恵	鳥見小学校 6年	女
5	ふじい ともみ 藤井 朋美	奈良高等学校 1年	女	26	まるやま そう 丸山 壮	三笠中学校 2年	男
6	ふじい だいすけ 藤井 大輔	鳥見小学校 5年	男	27	やまむら ゆうき 山村 祐輝	三笠中学校 1年	男
7	よしの ひろあき 吉野 弘晃	三笠中学校 2年	男	28	むかいやま はると 向山 温登	二名中学校 1年	男
8	ふじい あやか 藤井 綾花	一条高等学校 1年	女	29	みどう じゅん 御堂 潤	近畿大学附属小学校 5年	男
9	しまおか ゆきえ 島岡 雪恵	一条高等学校 1年	女	30	いなだ ゆうき 稲田 悠希	立命館守山高等学校 1年	男
10	ひらもと まゆ 平本 真由	一条高等学校 1年	女	31	ほんじょう さとし 本條 悟史	飛鳥中学校 2年	男
11	ほりぐち みずき 堀口 瑞希	佐保川小学校 6年	女	32	おばな こうすけ 小花 康介	三碓小学校 5年	男
12	もとむら あみ 本村 愛海	佐保川小学校 6年	女	33	なかべ りゅうき 中部 隆希	辰市小学校 6年	男
13	のぶもと うたの 信本 詩野	西和清陵高等学校 1年	女	34	まるもと しょうたろう 丸本 翔太郎	辰市小学校 6年	男
14	さくらい まさてる 櫻井 優輝	三笠中学校 2年	男	35	のむら ふうか 野村 楓夏	辰市小学校 6年	女
15	きぬたに りん 絹谷 凛	三笠中学校 2年	男	36	さかぐち ゆうや 坂口 結哉	辰市小学校 6年	男
16	やまむら さき 山村 早輝	三笠中学校 3年	女	37	なかがわ こうき 中川 巧稀	辰市小学校 6年	男
17	しんどう けんいち 真銅 健一	三笠中学校 3年	男	38	くき だい き 九鬼 大暉	都南中学校 1年	男
18	なんぶ あき 南部 安紀	三笠中学校 2年	女	39	くき ひろあき 九鬼 啓明	都南中学校 3年	男
19	いしおか ゆきえ 石岡 由希絵	奈良高等学校 2年	女	40	にしい りさ 西井 りさ	奈良女子大学附属 小学校 6年	女
20	おおもり みゆ 大森 未悠	富雄中学校 2年	女	41	おおにし もりと 大西 杜人	都南中学校 1年	男
21	みよし さつき 三好 さつき	富雄中学校 2年	女	42	のだ まなみ 野田 真未	三笠中学校 2年	女

5 サポーター

奈良市内に在住または在学している大学生等を対象に募集し、4名の大学生が参加しました。（応募受付順・敬称略）

	氏名	大学／学年	性別
1	にかいどう たいき 二階堂 泰樹	奈良教育大学 教育学部修士課程 1年	男
2	くめ あやか 桑 綾香	奈良教育大学 教育学部 4年	女
3	ふじい まなか 藤井 愛華	奈良教育大学 教育学部 1年	女
4	ののやま 野々山 ゆか	奈良女子大学 文学部 4年	女

Ⅱ 奈良市子ども会議の開催

1 奈良市子ども会議の内容

(1) 第1回「仲間と出会い、奈良を見つめる」(7月28日開催)

- 10:00 開会(子ども会議のねらい、流れを説明)
- ・開会あいさつ
 - ・事務局紹介
- 10:10 ファシリテーター紹介
アイスプレイング
- ・共通ルールについて確認
 - ・基本のテーマについて 「放課後の過ごし方、遊び場など。」
- 11:10 休憩(お菓子・ジュース)
- 11:20 グループワーク
- 気付いたこと、知りたいこと、話したいこと
- ・グループ5~6人で学齢別で組む。
- 11:50 全体での振り返りとまとめ
(振り返りシートを記入してもらう。)
- 12:00 閉会
- ◎ 奈良テレビ、奈良新聞社からの取材を受けました。

(2) 第2回「市長に提案するテーマをさがそう! 選ぼう!!」(8月4日開催)

- 10:00 開会
- 前回の振り返りと本日のねらいと流れの確認
共通ルールについて確認
- 10:10 放課後の過ごし方、児童公園などの遊び場、中高生の居場所などについて、
みんなで考える。
全体で5W1Hでいろんな問いを具体的に考えていく。
「どうすれば○○することができるか」
- 10:50 休憩(お菓子・ジュース)
- 11:00 (続き)
- 放課後の過ごし方、児童公園などの遊び場、中高生の居場所などについて、
みんなで考える。
全体で5W1Hでいろんな問いを具体的に考えていく。
- 11:30 小テーマを絞る。
↓
各自テーマを選ぶ。
↓
グループを作成する。
(1人グループも認める。)
- 11:50 全体での振り返りとまとめ
(振り返りシートを記入してもらう。)
- 12:00 閉会
- ◎ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

(3) 第3回「市長に提案するテーマについて語り合おう！」(8月6日開催)

- 10:00 開会
前回の振り返りと本日のねらいと流れの確認
(前回の欠席者には、前回の内容をこの時点で説明する。)
共通ルールについて確認
今日のゴール「市長へ提案する内容を考えよう」
- 10:15 アイスプレーキング
- 10:20 グループ活動
模造紙を4段に分割する。
↓
模造紙の最上段(1段目)にテーマを書き、メンバーの名前を記入する。
↓
テーマに関して困っていること、知りたいことをポストイット(黄色)に書いて貼っていく。(4段目)
- 10:35 テーマについてどのようにしたいか、どんな夢があるかをポストイット(ピンク)に書いて貼っていく。(3段目)
(事務局が用意した各テーマについての資料も参考にする。)
↓
会場の壁に模造紙を貼り出す。
- 10:50 休憩(お菓子・ジュース)
- 11:00 グループごとに壁に貼られた模造紙について発表する。
- 11:35 模造紙3段目のポストイットに書かれた意見について、賛成できるものやいいなと思ったものに「いいね!シール」(赤い丸シール)を貼る(1人3枚まで)。
また、別のアイデアがあればピンクのポストイットに書き、追加してもよい。
- 11:50 「いいね!シール」の多いものから市長への提案を絞っていく。
市長への提案をグループごとに書き出す。
要望や提案については、次回で深めていくので、今回はそのきっかけをつかめれば十分。

1 段目 「テーマ」 「グループメンバー名」
2 段目 「市長への提案」
3 段目 「テーマについてどのようにしたいか。 どんな夢があるか。」
4 段目 「テーマに関して困っていること、 知りたいこと」

- 11:55 全体での振り返りとまとめ（振り返りシートを記入してもらう。）
 （次回の開催日まで期間が開くので、話し合っているテーマについてもう少し知りたいことを調べたり、市長への提案について身近な友達等に聞く機会があれば聞いてみる。）
- 12:00 閉会
- ◎ 事務局から、各テーマに関連する資料の提供。（奈良市で行っている施策等）

（4）第4回「テーマを深めよう！私たちができること、市ができること」（8月18日開催）

- 10:00 開会
 前回の振り返りと本日のねらいと流れの確認
 （前回の欠席者には、前回の内容をこの時点で説明する。）
 共通ルールについて確認
 今日のゴール「市長への要望と提案を1つ～3つに絞り込み、意見書の下書きを作成する。」
 アイスブレイキング
- 10:15 各グループで宿題として考えてきたことを発表する。
 テーマについての要望と自分たちができることの提案を考え、掘り下げる。
- ・前回どんなことを話し合い、どんな意見が出たかを振り返る。
 - ・このテーマで最も要望、提案したいことは何か。
 グループで最も優先順位の高いものを選ぶ。
 - ・具体的にどんなことを市長に要望したいのか。それはなぜかを考える。

A4用紙を4分割し、次のように書き込む

① 要望 テーマについての 要望を書く。	③ 提案 要望に対しての提 案を書く。
② 理由 どうしてこの要望 をするのかを書く。	④ 私たちができること 要望や提案につい て子どもたちで できることを書く。

絞り込めた段階で、①要望を箇条書きで模造紙の2段目部分に記入し、壁に貼る。

- 11:00 休憩（お菓子・ジュース）
 ※ 仲川市長が視察。子ども参加者たちに「自分が主役だと思って、いいアイデアをどんどん出してほしい！」などのメッセージを伝えました。
- 11:10 グループの途中経過を発表して、他の参加者からアイデアをもらう。
 提案がある場合は、ポストイットに書いて貼ってもらう。

- 11:30 再度グループで話し合い、市長への意見書の下書きの作成を行う。
意見書の記入シートを配布する。
- 11:55 全体での振り返りとまとめ（振り返りシートを記入してもらう。）
- 12:00 閉会

(5) 第5回「市長への意見書を完成させよう！」(8月20日開催)

- 10:00 開会
前回の振り返りと本日のねらいと流れの確認
（前回の欠席者には、前回の内容をこの時点で説明する。）
共通ルールについて確認
アイスブレーキング
- 10:10 意見書の作成。
- 11:00 休憩（お菓子・ジュース）
- 11:10 意見書を読み上げてみる。
- 11:35 市長への意見報告会の進行について話し合う。
発表の順番、各グループの発表の時間、発表の方法等。
- 11:50 全体での振り返りとまとめ
（振り返りシートと全体を振り返ってのアンケートを記入してもらう。）
- 12:00 閉会
- ◎ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。

(6) 市長への意見報告会(8月25日開催)

- 9:30 事前打ち合わせ
・意見報告会の進行について確認する。
・意見報告の練習を行う。
- 10:30 意見報告会 開会
- 10:35 市長あいさつ
- 10:40 意見書について各グループから発表
① 安全な登下校について
② 町をきれいに！！
③ いじめNo！
④ 奈良市を地球温暖化対策モデル都市に
⑤ コンビニエンスストアのあり方
⑥ 奈良市の財政
⑦ どうすれば公共施設（レジャー施設）が増えるのか？
- 11:10 市長との意見交換
テーマごとに市長から質問等
- 11:40 意見書の提出
子ども参加者の代表1名から市長へ意見書を提出。
- 11:50 ファシリテーター浜田進士氏からあいさつ
- 11:55 記念撮影
- 12:00 閉会
- ◎ 事前打ち合わせの様子を奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。
- ◎ 奈良市子ども・子育て会議 栗本 恭子 委員にご視察いただきました。

2 奈良市子ども会議の様子

(1) 第1回

① 開会あいさつ



② 子ども会議について説明



③ アイスブレイキング



④ アイスブレイキング



⑤ アイスブレイキング



⑥ グループワーク



⑦ グループワーク



⑧ 振り返りとまとめ



(2) 第2回

① 前回の振り返り



② 放課後の過ごし方などについて考える



③ いろんなテーマを具体的に考えていく



④ いろんなテーマを具体的に考えていく



⑤ みんなの意見を見てまわる



⑥ 思いつくテーマを書き出す



⑦ 壁に意見を貼り出し、いいと思うテーマを決める



⑧ テーマに分かれ、グループを作る



(3) 第3回

① 前回の振り返り



② アイスブレイキング



③ 模造紙にテーマやメンバーの名前を書く



④ テーマに関する意見を書き出す



⑤ 壁に意見を書いた模造紙を貼り出す



⑥ グループごとに出てきた意見を発表



⑦ グループごとに出てきた意見を発表



⑧ いいなと思った意見に「いいね！シール」を貼る



(4) 第4回

① 前回の振り返り



② アイスブレイキング



③ アイスブレイキング



④ テーマについての要望や提案を考える



⑤ テーマについての要望や提案を考える



⑥ 市長が視察にこられました



⑦ グループでの途中経過を発表



⑧ 意見書の下書きをつくる



(5) 第5回

① アイスブレイキング



② アイスブレイキング



③ 意見書をつくる



④ 意見書をつくる



⑤ 意見書をつくる



⑥ 意見書の表紙作成



⑦ 市長へ意見書を渡す代表者を決める



⑧ 全体を振り返り



(6) 意見報告会

① 市長挨拶



② 意見報告「安全な登下校について」



③ 意見報告「町をきれいに！」



④ 意見報告「いじめNo！」



⑤ 意見報告「奈良市を地球温暖化対策モデル都市に」



⑥ 意見報告「コンビニエンスストアのあり方」



⑦ 意見報告「奈良市の財政」



⑧ 意見報告「どうすれば公共施設（レジャー施設）が増えるのか？」



⑨ 市長への意見書の提出



⑩ 記念撮影



3 振り返りシート集計結果

奈良市子ども会議の各回で子どもたちにその日を振り返るアンケート（振り返りシート）を記入してもらい、子ども会議についての意見を聞きました。その集計結果は次のとおりです。

- ◎ 回答者数 第1回 39名（欠席2名、途中退席1名）
 第2回 32名（欠席9名、途中退席1名）
 第3回 32名（欠席10名）
 第4回 35名（欠席7名）
 第5回 40名（欠席2名）

（問1）楽しかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	33	85%	24	75%	26	81%	26	74%	36	90%
そう思う	6	15%	8	25%	6	19%	8	23%	4	10%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	39	100%	32	100%	32	100%	35	100%	40	100%

（問2）わかりやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	32	82%	20	63%	21	66%	22	63%	36	84%
そう思う	7	18%	12	38%	11	34%	12	34%	7	16%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	39	100%	32	100%	32	100%	35	100%	43	100%

（問3）話しやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	31	79%	23	72%	25	78%	26	74%	33	83%
そう思う	7	18%	8	25%	7	22%	6	17%	7	18%
そうでもない	1	3%	1	3%	0	0%	2	6%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	39	100%	32	100%	32	100%	35	100%	40	100%

（問4）今日の子ども会議に参加して、感じたこと、気づいたこと、考えたことなど…なんでも書いてください！

① 第1回

- 私の案を聞いてくれてうれしかったです。
- ゲームの時間が長かったかな？
- 楽しかった。また参加したいと思った。もっと遊び場がほしい。

- なかなかこのような機会とかなくて、始めは知らない人もいて不安だったけど、時間たつにつれて仲よくなれて笑いながら会議ができてとても良かったです！！・
楽しかったです！！
- 普段、話すことができない他校の子達と意見交換や交流ができて新鮮な体験ができました！！
- 一番最初はきんちょうしていたけど、はじめて会う人々とかう流しあうことでうちとけました。
- 他の学校や知らない人と年れいをこえて楽しくゲームをしたり、おかしを食べたりしてとても楽しかった。
- 自分の知らない新しい考え方や、奈良市の現状を知れて楽しかったし、おもしろかったです。
- とってもとっても楽しくて本当に話しやすくてもっとこの会議をしたいと思いました。
- 色んな意見が聞けて良かった。話しやすかったのも、自分の意見を言いがやすかった。
- なんでも話せた。
- 色々な人としゃべれて良かった。
- 話しやすい環境をうまくつくろうとしてると感じて、とてもやりやすかった。リニアについてもっと話したいです。
- 自分の意見が奈良の発展につながればいいと感じた。
- かたくなるしいものかと思ったが、なかなかやわらかく、きんちょうせずにできた。40人以上も人がいるとかなり違う意見が出てきた。
- 会議って、かたくなるしいイメージがあったけど、みんなのことを知ったりして場の雰囲気作りから始めて、とても楽しかったです。
- 色んな意見が聞けて勉強になった。とてもはなしやすくてよかった。楽しかった。
- 自分より10才ぐらい下の子の意見を聞くのは新鮮で楽しかったです。
- 色々な人とたくさんしゃべったり、仲良くなれたので良かったです。
- かたくなるしくなく、本当に思ったことを何でも言い合えるふんいきで、良かったです。奈良市はいいところもあるけれど、まだまだ残念なところもあるので、今後話し合っていいいところを増やしていけたらいいなと思います。
- 自分の思っていることがいえた。他の人の意見も聞けて良かった。
- みんなの考えを聞けて良かった。
- 今まで子どもの意見は優先されていなかったけど、聞いてくれる会があったのでよかった。
- 知らない人との交流は楽しいと思った。自分では思いつかなかった意見が聞けて良かった。
- 自分の意見をばんばん言えた。積極的に話せた。
- 1回目子ども会議で、初めて会う人たちと仲良くしてくれるゲームがあったことで緊張がなくなり良かったです。
- みんなはこんなことをわかっているんだなと感じました。
- みなさんも、ぼくと同じようなことを思っていたので、とてもしゃべりやすかった。また、色々なことを話し合えて良かったと思いました。
- とても楽しかった！みんな意見をいってよかったと思う。
- はじめはカチカチでしたが、すごく楽しいかんじで、良かったです。
- 意外に楽しかった。
- 楽しかった。
- 知らない人にかこまれるのはにがてだが、母がきょうしなのでその生徒たちがいて安心して話せた。
- 他の人と話すことで貴重な経験をしたと思います。

- 今まで思っていた事を言えし、友達がつくれて良かったです。
- もっともっと奈良市が住みよい町に進化していければ良いと思う。
- 他の学校の人とでも、とても話やすく楽しかったし、しゅみとか、一緒の子もいて、すぐくたのしかったです♪

② 第2回

- いけんが自由にいえてうれしい。
- 色々なことに話し合っテーマも決まったので、3回・4回・5回と深く話し合っ奈良を良くするためにして（考えて）いきたいと思います。
- 自らが興味のあるテーマを発案でき、そのテーマについて共に話し合いたい人を見つけれ嬉しかった。
- 少しはなしづらかった。
- ここに集まっている人みんな奈良市がどうすれば良い方向に進むかをちゃんと考えているなあと考えた。
- 環境汚染が進んでいる おもしろかった。
- 現実的な話を考えないといけない。
- 色々な意見を知れてよかった。これからちゃんとした話し合いが始まるのがたのしみ。
- 奈良を変えてほしいところがこんなにあったことをした。
- 楽しかった。（3人）
- ふんいきもよくなり、意見を出しやすいようになってきた。
- 前回に引き続き、かなり多くの意見を聞くことができた。
- たくさんの問いがあっ、読んでいておもしろかったです。自分の意見をえらんでくれている人がいて嬉しかったです。決めたテーマで早く話し合いたいです。
- 次の会議の話し合いをがんばりたい。会議の雰囲気分かり、次にいかしたい。
- いろんな意見が聞けて良かった。同じ意見の人がいっぱいいて良かった。
- やっぱりこまっていることがたくさんありました。私のグループ以外のテーマもとてもおもしろそうで、それが実現したらおもしろそうだなと思います。
- ボールを公園で使えるようになりたい。
- 本格的になりワクワクしてきました。
- みんながやさしくしてくれなじみやすかった。
- よく話すことができたと思う。小・中学生もがんばっていた。
- いろいろ分かりました。
- みんなで話し合えば、分かたり、気づくことがたくさんあるので、この会議はとてもいいと思う。
- 今日のゴールにいてよかった。
- 同じ想い（意見）をもっている人もいると思った。
- いろいろなことを学べし、周りの人とも話やすく良かったと思います。
- 今まで思っていた事をテーマにしてみても分かりやすくなりました。

③ 第3回

- 友達できてちょううれしい。ドリームランド復興。
- それぞれのテーマについて話し合っ深く考えることができました！！他のテーマにも納得できることや「ぜひしてほしいなあー」と思うこともありました。皆さんがどのように考えているのかも知ることができたので良かったです！！
- 一つのテーマについて話し合っいても、出てくる意見は人によって様々で、久しぶりに

刺激を受け、とても楽しい時間を過ごすことができました。

- このグループでいっしょにやることで人それぞれの意見があると思いました。
- 1人1人それぞれの意見をもっていて万人が賛同できる意見をつくるのは難しいと思いました。奈良市の財政は厳しいのは前から知っていてその原因はお金の使い方にあると思います。もっとお金を有効的に使うべきだと思います。
(このような使い方は今後の会議で考えていけたらと思います。)
- それぞれのグループに対する意見や話し合いをきいて色々なことを知れたし考えることができてよかった。リニアや観光については個人でも深く考えていきたいと思う。
- 事前にそれぞれのテーマについて資料があったことがとても助かった。
- しっかり話しあえた。
- 様々な意見が聞けて、とても楽しかった。
- いろんな意見の出し合いや意見が出てとても勉強になった。奈良市を良くするために、みんなが考えていることが分かった。
- 班の発表の後にした口での意見の交換時、少し攻撃的だったなと思いました。
(全員じゃないけど)
- 色々な意見がたくさん言えて良かったです。みんな発表のしかたが上手ですごいなあと思いました。
- みんな発表のしかたが上手だなと思いました。自分の意見をしっかりハキハキ言ってすごいなあと思いました。
- 自分の思っていた公園のことをいえた。
- 同じグループの人と仲よくなれました。
- 自分の意見をしっかり言えたと思う。
- 的を得ていない意見があったのでそれぞれがテーマについて深く理解すべきだと思った。
- みんな、自分じゃ考えられないような意見を言っていた。
- 同じ班の中で楽しくスムーズに話のできたのでよかった。
- 同じ班の人の中でも色々な意見が出て、そんな意見もありだなあと思えてよかった。
- 奈良に対する考えをたくさん持っている人がいたので、とてもよく取り組めた。
- いろいろ考えました。
- 奈良を良くしていくには、やはり、小さなことから、コツコツやっていくことが大切。
- みんなの意見を聞くと、自分も考えやすかったです。
- 話し合いが楽しかった。
- 話が楽しかった。
- いろんな意見があると思った。
- どの意見にもやはり、リスクがあるので、出来るだけリスクの少ないものを、現実から考えていけば良いと思いました。
- 頑張る。

④ 第4回

- 市長に提案する案の型がきまってきて、とてもよかった。次回がとても楽しみであった。
- 今日、短い時間だったけど要望をまとめられて、一番深く話し合えたと思います。色々な意見がでて市長に提案する内容も考えれて、後は文章を考えるだけだから、早く進んでホッとしました。同じ班の子とも交流が深まりました！！
- いろんな意見が出た。
- 自分の要望を文章にするのは難しかった。
- 1人よがりダメ！！みんなで話し合う。

- 自分の要望を市長に伝えるための意見書がつくれて楽しかったです。
- それぞれのグループの様々なテーマについての意見を聞き、色々な考えをもつことができ、面白いと思った。次回でさいごになるが、さいごまで楽しく真剣に話し合いたいと思う。
- まだまだ抽象的なところが多いから次回はもう少し具体的にする。
- 班の中で何も言っていない人、何もしていない人がいるので、皆が楽しめる内容にしてほしい。
- 意見を書くふせんを3色に分けた方がいいと思います。ちがうグループの人が書いてくれた意見がわからないから。
- 自分が考えた意見が市長さんに言えることになったので良かったです。市長さんに言った意見が本当にじつげんできたらいいなと思いました。
- 自分たちの願いがどんどん実現に近づいていて、話し合っているときとてもワクワクしました。
- いろいろな意見が出て楽しかったし、最近の小学生はすごくしっかりしているということを感じられました。．．．
- 要望が早く決まってよかった。
- みんなで仲良く協力してスムーズに話し合いができました。
- 話し合いがしやすい雰囲気になってきました。
- かなり、相談が進んだのでとても良かった。
- 今までの話し合いをまとめることが出来たし一人一人の意見がよく分かりました。
- 楽しかった。
- グループの人に話すのがはずかしかった。
- 自分の考えていることを、わかりやすくせつめいすることは大切だと思いました。
- 本格的な意見が出て良かったと思う。
- いじめのことについて、たくさん考えた。
- イジメをなくすと言うことでこんなに案がでるとは思わなかった。
- 意見が通りやすく、しゃべりやすい。
- 発表してスッキリした。
- 似ている所もあるんだな。
- とても話しやすく楽しかった。
- こういう自分の意見を言えるところがあると、もっと奈良市が良くなると思う。ぼくのグループは話しやすい！！
- 今日は、一番楽しかった。
- 自分から意見を出して、その意見を発表するのは、あんがい楽しいと思いました。

⑤ 第5回

- 同じ学校の子がこなかったけど、友だちができてうれしかった。
- みんないっしょに協力して楽しかった。
- 最しよのときはきんちょうしていた人もなれていた。
- はやく清書が完成したので良かった。
- 今日は、市長に提出する絵などかいた。つかれた。
- まとめていろんなことが分かった。
- 最後にしっかりとまとめることが出来て良かったです！
- 意見をまとめることはとてもたいへんだと思いました。
- とても有意義な時間になりました。ありがとうございました☆
- 楽しかった。

- 前回の課題であった「具体的な案を出す」というのを達成できたので良かった。
- とてもこの5回楽しかった。
- 清書をするのがとてもドキドキしました。
- みんなで協力できたと思う。
- まとめることがスムーズにできて良かったです。
- みんなで考えた意見を市長への意見として書くのは良いことだと思いました。しっかりとこの意見がとおるようにみんなで考えることはとても大切なことだと思いました。
- 来年の子ども会議もできれば参加したい。
- みんなで作業することが楽しく、集中しやすい。みんなしんけん。
- みんな積極的。
- 次回の市長に意見するのがんばりたいなと思いました！！
- 初めて子供会議に参加して、他の中学校の人や、また高校生、小学生などの意見や考え方を知れてとても良かったです。同じ班のメンバーも、今日初めて話し合いに加わったのに、温かく接してもらい、話し合いにも参加しやすかったです。
- 意見書が完成した時、とてもうれしかったです。5回子ども会議に来たかいがあったなと感動しました。
- 意見がちゃんとまとめられて良かったです。
- 1班で協力して何かやるというのも楽しいなと改めて思いました。達成感がハンパないです！
- 意見書が出来あがってとてもよかった。さいようされるとうれしいと思う。
- 良かったです。
- 文章ができあがって良かった。
- ようやく、まとまって皆で話し合いながら進めることができました。熱心に休けいの時は笑いながら良いチームを作れたと思います。清書は遅くなってしまいました。後もう一回ぐらい機会がほしかった。
- 最後のせいか他のグループに遊んでる人がいた。
- 楽しい。
- 奈良市について改めて考えることができて楽しかったです。
- いろいろな人たちと友達になれてよかった。みんなと話すことが楽しかった。
- 表紙をかく時間が全然なくてすごく焦った。

4 アンケート集計結果

第5回奈良市子ども会議の際には振り返りシートの他に奈良市子ども会議全体を振り返ってのアンケートを子どもたちに記入してもらいました。その集計結果は次のとおりです。

◎ 回答者数 40名（欠席2名）

（問1）奈良市子ども会議のことを何で知りましたか。（1名からの複数回答あり）

選択肢	人数	%
しみんだより	1	2%
チラシ（学校）	12	27%
学校での案内	11	25%
奈良市のホームページ	1	2%
子育て@なら	0	0%
子ども未来部Twitter	0	0%
友達や保護者からの紹介	9	20%
口コミ	0	0%
その他	10	23%
計	44	100%

（その他）

- ・新聞
- ・家に案内が届いた（4人）
- ・先生からの紹介（5人）

（問2）奈良市子ども会議についてご満足いただけましたか。

選択肢	人数	%
満足	36	90%
やや満足	2	5%
普通	1	3%
やや不満	1	3%
不満	0	0%
計	40	100%

（その理由）

【満足】

- 楽しかったから。（3人）
- みんなと仲良く話し合えたから。
- いろいろ楽しかったから。
- 議題について考えるのが楽しかったから。
- みんなで楽しくできたから。
- いろいろな事を発表したり、聞いたりして楽しかった。
- 自分たちの意見が言いやすかったから。
- いろいろと考えられたから。
- いろんな人と関われたから。
- アイスブレイキングなど子ども達がやりやすい空気をつくってくれたのでみんな積極的に話し合い、意見も出し合えた。
- 深い所まで話し合えたから。

- 最終的によく意見を発言できて、自分の意見をしっかり伝えられた。
- 公園での困っていることがしっかりいえたからです。
- 子供がなんでも言えたり、チームワークを学べたから。
- みんなで奈良市がよりよくするために話し合うことができたから。
- 自分の意見をしっかりと言うことができたから。
- 会議の内容がおもしろかった。
- 友達も増え、達成感がある。
- いつも思っている事を他の人に聞いてもらえたから。
- 毎回楽しく参加できたり、自分の意見を言える場だったのでとても充実した会議になったと思うからです。
- 会議と聞いたので、重い雰囲気かなと思っていたけれど、すごく明るく、楽しいふんいきだったからです。
- 自分の意見がたくさん言えて、市長さんに自分が考えたことを言えることになってうれしかったから。
- 協力したり、他の学校との交流がとても楽しかったから。
- さまざまな人たちと意見が交わってきたところ。
- 自分の意見を活発に言えたり、いろいろな人の意見を聞いたから。
- 違う年の子と話し合えて良かった。
- 自分達で最初からつくった改革案が奈良市のためになるかもしれないから。
- 他の人とも仲良くなれて奈良のことについて真剣に話し合えた。
- とても楽しく自分の意見を言えたりしたから。

【やや満足】

- 時間がとぎれて勢いをつけにくい。
- 自分の意見の内容が少し通ったから。

【普通】

(意見無記入)

【やや不満】

- 2時間もするのだから、もっとしっかりすればいいのに。おやつの時間となくしてもっとパパッと早くしてほしい！

(問3) 奈良市子ども会議を通して自分の意見を言うことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	25	63%
できた	14	35%
どちらともいえない	1	3%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	40	100%

（問4） 奈良市子ども会議に参加して、奈良市のまちづくりにより興味・関心をもつことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	24	60%
できた	16	40%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	40	100%

（問5） 奈良市子ども会議に来年もまた参加したいですか。

選択肢	人数	%
とても参加したい	19	49%
参加したい	13	33%
どちらともいえない	6	15%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	1	3%
計	39	100%

（問6） 奈良市子ども会議に参加して、良かったところ、悪かったところ、変えてほしいと

ころなど、自由に感想や意見を書いてください。（開催時期、回数、場所、内容など）

- 5回以上やってほしいです。
- みんなと協力できたり、やさしく接してくれたり、話をちゃんと聞いてくれたことが良かったです。
- 開催時期が夏休みだったからよかった。
- 開催時間を午後にしてほしい。
- もっと回数を増やしてほしい。
- 初対面の人ともたくさんしゃべれたので良かった。
- 楽しかった。
- 最初に少し遊びを入れてくれて、話しやすくなり良かったです！
- 部活とかさなってしまった。
- 子ども会議の回数を減らしてほしい（部活にえい響するから。）学年など、小・中・高と分けて開催してほしい。
- 会議で話しあうテーマの的を1つにしぼってほしいと思います。みんなが違うことを考えないで1つのことをみんなで考えた方が良い意見が出ると思う。
- はしゃぎすぎて途中、不まじめになり、話し合いをしてくれなかったのが反省点かと思います。
- 自分の話したいことについて積極的に意見することができたので良かったです。奈良市を良くするためのこの会議はとても大切だと思いました。ありがとうございました。
- アイスブレイキングが楽しかった。
- 自分より学年の小さい子供に教わることもあったからとても新鮮だった。
- 良かったことは、違う学校との交流が出来て、また奈良市をより良くできる良い経験ができた。
- 子どもがのびのび遊べる所が早くできたら良いと思いました。
- 悪かったところはあります。子供が、のびのびとできるために工夫をして子供会議をすすめてくれていたのでよかったし、みんなの意見をさいようしてくれたのがよかった。

- 今年はとても楽しかったので、来年はもっと回数を増やしたら良いと思いました。
- 自分の奈良に対する意見をしっかりと考え、言うことができた。私学の小・中学校、高校にかよっている人は夏休みが8月中に終わってしまうので7月の終わり～8月中旬までの間にしたい。
- 子供への接しかたが良かった。（2人）
- 全体的に楽しかった。準備が整っていて、とてもやりやすい環境だった。悪いところはとくにない。
- もう少し回数があっても良かったと思います。内容についてはとてもまんぞくです。
- とても楽しかったです。自分の意見をふつうにたくさん言えました。この子ども会議を行えば行こうほど、奈良市がよくなっていくといいなと思いました。
- 自分の意見がいっぱい言えてほんとに良かったです。
- 他の学校との交流がとても楽しかったです。個性あふれた会議で、とても居心地が良かったです。
- さまざまな人の意見がきけて、とても学べた。回数はとてもよく、時間帯も行きやすかった。とても楽しかったです。
- いろんな意見を言いあえた。
- 会議の時間をもっと長くして欲しい。最後の回は、急いでやったからちょっと文章が雑になったと思う。
- もう少し回数があればもっといいものになったと思う。
- 後もう1回ほどほしかった。でも、他の人と仲良くなれたし、最初は不安だったけど、最後の方は楽しくできました！！奈良の事も知れて真剣に話し合うという機会はなかなか無いし本当に参加して良かったと思う。
- 1回目のゲームの時間をもっと少なくできれば、議論（話し合い）の時間が増えるのではないかな？→話し合える時間が少なかった。
- 一回目開催した時より五回目開催した時の方がいそがしかった。
- 表紙をかく時間がほしい。

Ⅲ 奈良市子ども会議で出された意見

1 奈良市子ども会議意見書

奈良市子ども会議で出された子どもたちの意見をまとめ、市長に提出するための意見書を子どもたち自身の手で作成しました。その内容は次のとおりです。

平成27年度の奈良市子ども会議では、子どもたち自身が話し合うテーマを考え、7つのグループにわかれて議論を進めました。

そして、テーマについて出された多くの意見を「要望」や「提案」、「提案からぼくたち・わたしたちができること」として意見書としてまとめてくれました。

なお、原本は子どもたちによる手書きの意見書になっていますので、この報告書の別冊資料としてその写しを添付しています。

〔テーマ・グループメンバー一覧〕

■「安全な登下校について」

平本 真由 真銅 健一 石岡 由希絵 岡本 竜一 西井 りさ

■「町をきれいに！！」

藤本 レイナ 南部 安紀 中部 隆希 坂口 結哉 中川 巧稀
野田 真未

■「いじめNo！」

倉田 美穂 堀口 瑞希 本村 愛海 堀田 梓 小花 康介
九鬼 大暉 九鬼 啓明

■「奈良市を地球温暖化対策モデル都市に」

小田 哲也 浦川 太一 大西 杜人

■「コンビニエンスストアのあり方」

吉野 弘晃 絹谷 凜 丸山 壮

■「奈良市の財政」

藤井 朋美 藤井 綾花 島岡 雪恵 信本 詩野 山村 祐輝
野村 楓夏

■「どうすれば公共施設(レジャー施設)が増えるのか？」

藤井 大輔 櫻井 優輝 山村 早輝 大森 未悠 三好 さつき
川邊 美帆子 茨木 恵 向山 温登 御堂 潤 稲田 悠希

(1)「安全な登下校について」意見書

[テーマ]

安全な登下校について

[要望]

私達の要望は「安全に登下校がしたい」です。なぜ、この要望をしたのかというと通学路にあるべき設備が整っておらず危険だからです。

その設備の不備や交通ルールの違反で事故にあいたくないからです。

学生である私たちは学校に通う権利があり、その為には、通学路を利用します。その通学路に危険があり、万が一事故が起これば、私たち子供の権利である「生きる権利」や「育つ権利」が奪われてしまいます。希望あふれる私たちの未来が奪われることは奈良市の損失であります。

[提案]

そこで私達は3つの提案を出します。

1つ目は、「自転車道、歩道の確保」です。

最近、自転車通学の人が多く、自転車のルール改正で歩道を走れなくなったので、自転車を使う人にとって危険が多くなっています。だから、歩道と自転車を使う人にとって安全なものにするために分ける必要があると思います。

歩道については、道が狭く、下校の時など人が多くなる時に車との距離が近くなり事故にあいやすくなるため、確保してほしいです。

2つ目は、「設備を整えること」です。登下校の道に街灯が少なく、冬場は特に暗くなるのが早いので帰る時に不安になります。他にも、利用者が多いにも関わらず、あまりにも青の間が短い信号や、まず信号がない横断歩道、事故で曲がったまま放置されたガードレール、鏡が割れていたり、無くなっていたりするカーブミラーが通学路にあり、それによって事故にあう可能性があるのを整えてほしいです。

最後の3つ目は、「道路交通法を子どもでも分かるように解釈したルールブックのようなものを作る」ことです。今年の6月に改正された道路交通法が子どもからすると難しく理解しにくいので、分かりやすい言葉と図で説明されたルールブックが欲しいです。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

1つ目と2つ目の提案についてわたしたちができることはあまりありません。しかし、通学路については私たちが熟知しているので、機会をいただければ自分たちで危険な場所を調査し報告します。

3つ目の提案については、ルールブックを作っただけであれば、それについて今以上に深く学び、今まで通り守り、周りの友人や家族に広めていきます。

(2)「町をきれいに！！」意見書

[テーマ]

町をきれいに！！

[要望]

- 町にゴミ箱を設置してほしいです。
ゴミ箱が少ないからポイ捨てをしてしまうので、だから設置してほしいのです。
- ゴミ箱テロ対策のための防犯カメラも設置してほしいです。
資金問題もあるかもしれませんが、何かあってもそこからだと余計に資金がかかってしまうことになります。
- 若い人からご年配の方まで色々な人が参加できるボランティアを増やしてほしいです。
若い人がいないと、重い物が持てないからです。
また、色々な人が参加すると達成感があるからです。
例えば、奈良市合同生徒会リーダー研修会を市が中心となってしてほしいです。
(市をきれいにするための話し合いの場として生徒会を集め、交流を深めながら、意見交流をし、意見交換する機会を増やしてほしいからです。)

[提案]

- 私たちの提案は大きく分けて2つあります。
- まず、1つ目は、佐保川の近くと公園にゴミ箱を置いてほしいということです。
- ゴミ箱は、燃えるゴミ、燃えないゴミ、再利用できるゴミで1セットとして、再利用では、ペットボトル、アルミ缶、キャップを捨てます。キャップを洗うのは、ボランティア活動で行います。できれば自分の家庭で。ゴミ箱にたまったゴミの回収は市の方で業者に頼んでください。
- 2つ目の提案は、若い人にも積極的にボランティアに参加できるように企画を市の方でつくっていただきたいです。例えば、草抜きを行ったり、ボランティアに参加したらポイントがもらえるポイント制をつくるなど。
- 私たちは、ゴミ箱についてのことと、ボランティアについてのことを提案します。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

- ポイ捨てされたゴミを見つけたら自ら拾います。
- 絶対に自分がポイ捨てをしません。
- ボランティアに積極的に参加する。
→友達を誘います。(友達と行けば、しゃべったりもするがある程度はできます。参加することに意味があると思います。)
- 注意を呼びかけポスターを作ります。

(3) 「いじめNo！」意見書

[テーマ]

いじめNo！

[要望]

- ・いじめを起こさないような環境作りに力を入れてほしい。
- ・奈良市の状況の資料にはいじめの相談ができる場所が書いてありますが、それで話を聞いてくれるだけでいじめを解決してくれなければ意味がないと思うので、それをきちんと行動にうつしてもらえるようにしてほしい。

[提案]

- ・みんなでコミュニケーションをとるための時間を学校でつくる。
- ・カウンセラーの人がいじめられている人の意見を聞いたら、その人が所属している学校の先生に報告し、その学校の先生が行動するなどの方法をとる。
- ・市長が年に一度、学校に来て、その学校の様子を見る。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

- ・いじめられている人を見たら守り、いじめている人を見たら注意する。
- ・いじめられているのに気づいたら担任の先生か親に相談してみる。
- ・いじめられたら、いじめている人にきちんと「やめて」と言う。
- ・相談できる所を設置して、いろんな人に知ってもらう。

(4)「奈良市を地球温暖化対策モデル都市に」意見書

[テーマ]

奈良市を地球温暖化対策モデル都市に

[要望]

「奈良市を地球温暖化対策モデル都市にする」
奈良市がしている地球温暖化対策の内容を他の市町村の取り組みが良いと思ったので。

[提案]

私たちの要望を実現するために

- ・建物の屋上や空き地などに植物を植えたり、育てたりする。
- ・一般の人から地球温暖化対策の意見を聞く。
- ・太陽光発電や電気自動車を設置したりする補助金がほしい。
- ・どのように活動しているのかインターネット、テレビ等で都市計画宣言をする。
→情報が広まって他の市町村も対策を始める。→温暖化の対策になる。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

植物を植えられる土地が近所にあるか探したり、空いている土地に進んで植物を植えたり、市が植えた植物をボランティアで育てたりすれば良いと思います。

(5)「コンビニエンスストアのあり方」意見書

[テーマ]

コンビニエンスストアのあり方

[要望]

1. 夜はなるべく節電する。
2. 営業時間を規制する。
3. コンビニの跡地や、成果を出せていない店を本社と提携して市が買いとる。

[提案]

1. 条例をつくる。
例) 1,000ルクス程度に照度をおさえる。
2. 条例をつくる。
例) 夜の営業時間を減らす。
3. コンビニの跡地、店を閉める予定になる所を市が把握して、その中から安くおさまり、さらに立地が良い所、広さと作る施設の検討をする。その検討会議では、子供の参加者を集めておき、参加者がコンビニ活用をしてくれる部署の方と意見交換をすれば良い。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

1. 市議会の方で善処していただく。
2. 市議会の方で善処していただく。
3. 会議を立ち上げ、そこに子供が参加すること。

(6)「奈良市の財政」意見書

※ このグループは要望等を3つ出してくれました。

[テーマ]

奈良市の財政①

[要望]

観光収入を財政のメインに！

- ・現在の奈良市の収入 → 観光からの収入はほとんどない！
- ・市の収入は、中核都市の中で43市中30位 → あまり多いほうではない！

子どもたちの様々な要望を実現させるためには「お金」が必要である。しかし、現在の奈良市の収入は少なく、要望を実現させるのは不可能に近いという現状だ。そこで、私たちは、奈良市の強みでもある「観光」を売りにして収入を増やしたらよいのではないかという考えに辿り着いた。

[提案]

観光収入をもっと増やすためには、来た人にたくさんのお金を落としていってもらうことが必要です。

だから、奈良に観光に来た人がもっともっと奈良を好きになってまた来るようになればいいと思います。例えば、市営のイベントを開催し、そこに来店するお店の売り上げの何%かを市に納めてもらう。

また、イベントの時間も夕方から夜にかけて開催し、そのまま宿泊していってもらえるようにするとさらに宿泊費も入ります。宿泊してもらおうとお金が儲かるだけでなく、もっと奈良の魅力を知ってもらえるので、来た人にもっと宿泊してもらえるように努力すると思います。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

イベントを開催する為のボランティアに積極的に参加をして、開催後の清掃のお手伝いに行くこと。

奈良の歴史やいい所を他の人にSNSなどを通じて伝える。

[テーマ]

奈良市の財政②

[要望]

私たちの要望は、学校で余っている物を売りたい！！

理由は、学校生活の中で余っているものがたくさんあり、余っている物を売って得た利益で部活等で不足しているものを買いたいからです。

<余っているもの>

楽器 机 イス など

<不足しているもの>

新しい楽器 クーラー など

[提案]

提案としては、市から学校へどんなものが余っているかなどのアンケートをとってみるといことです！

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

提案に対して私たちはアンケートに協力するように率先して学校側に働きかけます！！！！

奈良市の財政③

[要望]

リニアを京都に！

【理由】

リニアがあると、観光する人はいても宿泊する人が減る。

→奈良の良さを深く知ってもらえない。好きになってもらえない。

目標は、奈良を深く知ってもらいたい。深く好きになってもらいたい。

（現状）観光客の行動パターン

午前 奈良観光

午後 京都観光 or 大阪観光、京都宿泊 or 大阪宿泊

【奈良の観光業をもっと発展させるため、宿泊客を増やす！】

このように奈良観光の時間は午前中など奈良にあてる時間はとても少ないように感じます。このままでは有名な観光地ばかりになり奈良を深く知ってもらい、好きになってもらうのは難しいです。大切なのは、また来たい！と思ってもらうこと。奈良にはいいものがたくさんあるのだから。（隠れたもの）時間さえ稼げば目標を達成できると思います。

[提案]

- ・リニアを奈良に通さないで欲しい。 →宿泊客を増やすため。
- ・京都との協力が必要。
→協力して一緒に京都に通すように行動する。京都なら一番協力してくれるから。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

- ・積極的に意見を言います！！
（SNSなどを使って、みんなが意見を言いやすい環境をつくってください。）
- ・奈良市をアピールします！！（手伝います。）
→意見を言った私たち子どもにだって責任があるのでどんどんお手伝いさせてください。

(7)「どうすれば公共施設(レジャー施設)が増えるのか？」意見書

※ このグループは要望等を3つ出してくれました。

[テーマ]

どうすれば公共施設（レジャー施設）が増えるのか？①

[要望]

奈良で存分に楽しめるレジャー施設が欲しいです。

[提案]

私たちが要望することについて提案することは、まず、奈良市にある若草山などの山々を有効活用するために山を整備して、新たな施設を作るといいと思います。

その施設の1つとして奈良には古いキャンプ場しかなく、アスレチックなどが錆びてきて危ないので、新しい安心して利用できるキャンプ場や公園を作って欲しいです。

また、親が安心して子供を遊ばせられる施設があると親子連れの人が多くなり、利用者の層が広くなると思います。

さらに、奈良は海がなく夏は涼む場所がないので、空調設備の整った年中利用できる体育館のような施設があると熱中症などの心配なく遊べて良いと思います。

これらのような奈良の自然を活かしたものや、子供たちが安心して楽しめる施設があると、奈良の一大レジャーとして市内だけでなく、県外からも利用する人が増え、奈良市が活気溢れるところとなると思います。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

提案から私たちができることは、

1つ目は、奈良の施設をたくさんの人に知ってもらうために、ポスターを作り、それを配ったり校区の掲示板などに貼ったりして、施設を精一杯アピールします。

2つ目は、施設的环境を保つために設備の修理をお手伝いしたり、施設やトイレなどを掃除します。

私たちが提案した施設を守るためにできることは何でもします。

どうすれば公共施設（レジャー施設）が増えるのか？②

[要望]

子どもがのびのび遊べる公園が欲しいです。

今は老人が増加して、小さい公園だと遊び場を提供してくれないからです。

また、ボールで遊んでいると外の道路などにすぐ飛んでいきとても危険です。

住宅地などで密集した地域では友達同士で遊んでさわいでいると大人に注意されてしまいます。これでは、私たち子供も大人もいやな気分になってしまいます。

公園は公共施設などで大人も子供も楽しめて、初めて役割を果たすと思います。

[提案]

公園を全部大きくするのではなく、校区に1つか2つは大きい公園を作るか、空き地を上手に活用して大きい公園を作ればいいと思います。

そして、住宅地に公園をたてると近隣住民の迷惑になってしまい、大人も子どもも嫌な気持ちになるので、少し住宅地から離れた所にたてるか、静かな所にたててください。

もし、住宅地に公園をたてるなら、防音の壁の施設の中に屋内公園をたててください。これは雨の日でも遊べるのでいいと思います。でも、まわりにまったく大人がいないと危険な大人に会うと助けを呼んだりできないので、公園の横に公民館など大人がいる所を作って安全な所を作ってくれたらいいと思います。

公園ができたら遊具の場所、ボールの遊ぶ場所、大人の休憩場所を作ってください。そうしてくれると私たちは場所を守ってたくさん外で遊ぶことができます。

ボールで遊ぶ場所にはフェンスなどをたてて道路に転がっていかないようにしてくれたら、安全でたくさん遊ぶことができますと思います。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

- ボール場所と遊具場所をそれぞれ使うときに、自分たちで場所をしっかりと守ります。
- 外でたくさん遊びます。

そうすれば、町が子供でにぎわい、活気づくと思います。もし、住宅地に公園ができれば、ボールで遊ぶ時などは、注意を払います。

[テーマ]

どうすれば公共施設（レジャー施設）が増えるのか？③

[要望]

小中高生でも楽しめる休日などにゲームや勉強を自由に室内でできる場所がほしいです！！

[提案]

- ・テスト前などに自習できる図書館が近くにほしいです。
- ・学校以外で友達と集まれる場所がないから杉並区児童少年センター（ゆう杉並）のような施設を各校区につくってほしいです。または、公民館を開放して自由に自習したり通信ゲームをできるようにしてほしいです。
- ・市長に意見を言える場所があまりないので、もっと市長に直接意見を言える場所を増やしてほしいです。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

- ・決められたルールはきちんと守ります。
- ・人が来てくれるようにポスターをつくります。

2 その他の意見

第2回奈良市子ども会議の際に出された多くのテーマ候補のうち、テーマには選ばれなかったその他の意見については次のとおりです。

- どうすれば、ゴミを道に捨てなくすることができるか。
- どうすれば公園で球技をすることができるか。
- どうすれば放課後の子供の居場所をつくることができるのか。
- どうすれば自転車に安心して乗ることができるのか。
- どうすればまちの環境が良くなるか。
- どうすれば学生が生活しやすくなるか。
- どうすれば学校の宿題が減らせるのか。
- どうすればバイクを静かにすることができるのか。
- どうすれば横断歩道に信号がついていない所をなくすることができるのか。
- どうすればトイレの洋式を増やすことができるか。
- どうすれば勉強を楽しめるか。
- どうすれば兄がやさしくなるか。or 兄弟仲良くできるか。
- どうすれば子供に優しい社会をつくれるか。
- どうすればおこづかいを増やしてもらえるのか。
- 当たり前の事を当たり前でできる人がどうやったら増えるか。
(例) 大きな声であいさつできていない。
- どうすれば定期的に公園や通学路の様子を調査できるか。
- どうすれば奈良の観光業を栄えさせることができるか。
- どうすれば空き家をへらすことができるのか。
- どうすれば全国の人に奈良の事を知ってもらえるか。
- どうすれば町の設備を充実させることができるのか。
- どうすれば地域でコミュニケーションをとることができるか。
- どうすれば観光客のマナーを守ることができるか。
- どうすれば遊び場が増えるのか。
- どうすれば森林破壊を止めることができるか。
- どうすれば公共の施設を増やすことができるか。
- どうすれば給食がおいしくなるか。
- どうすれば道にゴミがないようにできるのか。
- どうすれば公園がきれいになるのか。
- どうすれば学校にクーラーをつけられるのか。
- どうすればパンの種類が増えるか。
- どうすれば下校中の道を安全にできるか。
- どうすれば夏の暑さがなくなるのだろうか。
- どうすれば奈良にホテルが増えるのだろうか。
- どうすればテニスコートで子どもがテニスができるか。
- どうしたらみんなが楽しめるか。
- どうすれば家の前の空き地に店、セブンイレブン（コンビニ）、家ができるのか。
- どうすれば友達を増やすことができるか。
- ガードレールを増やすにはどうすればよいのか。（下校中の道があぶない）
- どうすれば騒音（バイクの音）をなくせるのか。

- どうすれば川がきれいになるか。
- どうすれば案内板が増やせるのか。
- どうすれば、学校で掃除をさぼらなくなるのか。
- どうしたら弟と妹がやさしくなるのか。
- （兄弟関係）どうすれば兄弟がいて、とても大切な存在、とてもありがたい事・幸せな事を改めてたくさんの人が感じることができるか。
- どうしたら、もっとメリハリ良く皆が気持ちの良い雰囲気になるのか。
- どうすれば市の自然を守れるのか。
- どうすれば道路がキレイになるのか。（ガタガタをなくす）
- どうすれば交通マナーを守れる大人を増やすことができるのか。
- 道が狭い。どうすれば道を大きくすることができるか。
- どうすれば川を美しくできるか。
- どうすれば市民の態度が良くなるのか。
- どのようにすれば持続可能な社会がつかれるのか。
- どうすればまちの空気をキレイにすることができるか。
- どうすれば学校の教室にクーラーがつくか。
- どうすれば学校にコンビニが入るか。
- どうすれば災害に強い町をつくれるか。
- どうすれば休日に遊べる所が増えるか。
- どうすれば町をきれいにできるか。
- どうすればコンビニが増えるか。
- どうすれば若い世代が積極的に地域活動に参加するか。
- どうすれば自分の住んでる場所を知ることができるのか。
- どうすれば奈良に観光客が来るのか。
- どうすれば川がきれいになるのか。
- どうすれば学校のテストが減るか。
- どうすれば給食が無くなるか。
- どうすれば公共施設が増えるか。
- どうすればもっと人と人がつながることができるか。
- どうすれば虫がへるか。
- どうすれば（公園内で）一人一人がポイ捨てや落書きをしないようになるのか。
- どうすれば遊ぶ所での人ゴミをさけられるのか。
- どうすれば不審者をへらすことができるのか。
- どうすれば緑化運動を増やすことができるか。
- どうすれば高校生に優しくなれるか。
- どうすれば道にゴミ（たばこ、あめのごみなど）を捨てなくなることができるだろうか。
- どうすれば学校の設備をうるおせるのか。
- どうすればまちをキレイにできるのか。
- どうすればルールを守らない人がいなくなるだろうか。
- どうすれば家の近くにコンビニができるのか。
- 公園の決まりを少なくするにはどうすれば良いのだろうか。
- どうすれば、「ドリームランド」の復興&遊園地、水族館類などを増やしてほしい。
- どうすれば公園がよごれないようにすることができるか
- どうすれば学校の近隣の住民と高校生が上手くやれるのか。

- どうすれば他人を思いやれるのか。
- 公園でボール遊びがどうすればできるか。
- どうすれば公園でボール遊びやバトミントンができるのか。
- どうすればお金をかけずに公園をきれいにできるのか。
- どうすれば（家の横の広い空地の）雑草をかれるか。

Ⅳ 意見書に対する答え

[テーマ]

安全な登下校について

提案：「自転車道、歩道の確保」について

【担当課：建設部 道路建設課】

自転車や歩行者と車を分けて道路を利用することは、交通安全に対して大変良い方法です。しかし、今ある道路に自転車道や歩道を新しく作るには、たくさんのお金や時間がかかってしまいます。そこで市では、車の通るところを少し狭くして、白線を引いたり、色ぬり（みどり色）などをして、自転車や歩行者が歩けるところを広げて、少しでも安全に登下校できるように工事を進めています。また、車の運転手に対しては、「学童注意」の文字を道路に書いたり、「飛び出し注意」の看板を道路の端に立てたりして、子どもたちに注意をしてもらえるようにしています。

提案：「設備を整えること」について

【担当課：建設部 道路維持課】

道路には、市道・県道・国道があります。現在、市の道路は5, 251路線あり、全部の道路の長さを合計すると1, 564キロメートルとなり、奈良市からラベンダー畑で有名な北海道富良野市までの距離と同じになります。街路灯は暗い道を明るく照らし、歩行者にとっては安心して歩くことができ、自動車を運転する人には物や人を見えやすくし、安全に運転できるように設置しています。ほとんどの街路灯は明るさセンサーで点灯するしくみになっているため、暗くなると点灯しますので安心してください。これらの街路灯を1台設置するためには約3万1千円の費用がかかり、そのために市は平成27年度800万円を準備しています。また街路灯を順番にLEDに交換していくため3年計画を立てて順番に交換をしています。ガードレールやカーブミラーなどは事故によって壊れたりしていますが、これらは壊した人に修理してもらっています。ただ、壊したまま届け出て来ない場合もあり、付近の方々から市へ連絡をいただくことがあります。その場合は市で修理をしています。市はガードレールで1700万円、カーブミラーで800万円の修理費を準備しています。見通しの悪い道路などでカーブミラーがあったほうが良いな、と思われる場所があれば、市に知らせてもらおうと取り付けたい場所かどうかを調査し、付近の住民の方々の意見も聞きながら新しく設置していきます。カーブミラーを新しく設置すると1基15万円かかり、そのための費用として市は600万円の準備をしています。これらの街路灯やカーブミラー、ガードレールなどはみなさんが安全に道路を通行できるように設置されていますが、それだけでなく、通行するみなさんがお互いに気遣いながら交通ルールを守り、施設と利用者両面から安全を確保していくことが大切だと思います。

カーブミラー新設工事
【設置前】



【設置後】



提案：「道路交通法を子どもでも分かるように解釈したルールブックのようなものを作る」について

【担当課：市民生活部 交通政策課】

道路交通法を子どもでもわかるように解釈したルールブックのようなものを作って欲しいという
ことですが、小中学生用には道路交通法一部改正のことが書かれたパンフレットが奈良市交通対策
協議会・奈良・奈良西・天理警察署から発行されており、子ども向けにわかりやすくなっています。
このパンフレットは今年度市立小中学校の児童・生徒のみなさんには配布していますので、確認し
てください。また、一般向けにはなりますが、警察庁・都道府県警察のホームページにのっている
自転車運転者講習や自転車運転中の危険行為なども参考になると思います。

(<https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/bicycle/pdf/H270304/leaflet.pdf>)

道路交通法が改められたのは、「自転車の交通ルール違反」が自転車事故原因の大半を占めている
ためです。平成27年6月1日からは自転車運転中に危険な行為をくり返した場合には、自転車運
転者講習を受けなければならなくなりました。

危険な行為の主なものとしては・・・

- ・信号を守らない。
- ・自転車が走ってはいけないところを走る。
- ・歩行者優先の歩道や路側帯で歩行者等の進行を妨害する。
- ・自転車の整備ができていない（ブレーキが効かないなど）。
- ・一時停止を守らない。
- ・遮断機が降りている踏切に入る。

・・・といったものでこのような行為は交通事故が起こりやすくなると考えられます。

なお、スマホをしながら運転する、二人乗りや並んで走る、無とう火の自転車に乗る、などは危険
な行為として道路交通法で禁止されており、処罰の対象となっています。みなさんが交通ルールを
学ぶことは大切なことだと思います。学校では交通安全教室を開催したり、パンフレットを参考に
しながら「自分たちの〇〇学校交通ルールブック」のようなものを作成したり、みなさんが交通
ルールをより深く学べるようにお手伝いしていきたいと思います。

関連事項：奈良市でも数年前から学校の先生と地域・自治会の方と一緒に校区を点検し、修繕など対
応しないといけな所を洗い出し、現在、工事をしています。今後、第2回目の点検を行
う予定としていますので、その際には「子どもの声も聴いてほしい」と私（市長）から伝
えておきます。子どもと一緒に安全点検ができるようになれば良いと思っています。

【担当課：教育総務部 教育総務課】

通学路の点検は、学校から提出された要望書をもとに、学校ごとに教育委員会・道路管理者・警
察・地域の方・保護者・先生が合同で点検しています。みなさんからすでに聞いている危険な場所
は、点検時に先生から教えてもらい、参考にしています。また、今後校区の地図を校内に張り出し、
通学路の危険な場所を明示したり、聞いたりしながら点検に役立てていきたいと思っています。点検で
発見した危険な場所については、詳しく話を聞きながら有効な対策を考え、関係機関と協力して安
全に通学できるように対応していきます。点検の結果や対策内容について、みなさんにわかりやす
く公表していく予定です。みなさんが、通学路の危険な場所を確認し、気を付けて登下校をするこ
とも大切な安全対策です。お父さんやお母さん、学校の先生と危険な場所を確認し、安全に登下校
をしてください。

町をきれいに！！

提案：「佐保川の近くと公園にゴミ箱を置いてほしい」について

【担当課：環境部 企画総務課】

奈良市は、国際文化観光都市であり、たくさんの観光客が訪れ、そのために「おもてなしの心」を大切に、美しい奈良市のまちづくりを進めています。少し前までは、駅前やバス停、公園などにたくさんのごみ箱を設置していましたが、ごみ箱からごみがあふれていても捨てていく人、ごみ箱がいっぱいだからとポイ捨てをしてしまう人、家のごみを公園などのごみ箱に捨てていく人など、まちがどんどん汚れていってしまうことになってしまいました。また、奈良公園の近くでは、鹿がごみ箱をあさって、ビニール袋などをエサと間違えて食べてしまい、病気になったり死んでしまったりしていました。そんなこともあり、「自分のごみは自分で持ち帰る」というマナーを身につけてもらおうと、今まであったごみ箱をどんどん減らし、ごみの持ち帰り運動を進めていこうと考えています。

提案：「佐保川の近くと公園にゴミ箱を置いてほしい」について

【担当課：都市整備部 公園緑地課】

公園にゴミ箱を置いて欲しいということですが、市では、平成26年度に公園に設置していたゴミ箱を撤去しました。撤去に至った理由は、家庭ゴミやペットの汚物が捨てられたり、また、カラスや猫が捨てられたゴミを食い荒らし、公園を汚したりするなど、公園の美化や衛生的な問題があったからです。さらに、管理人のいない公園では、ゴミの分別処理をすることは困難であり、不審物や危険物が捨てられる恐れもあります。そのような中、国からの通達により、テロ対策として、公園内のゴミ箱を撤去するなどの措置を講ずるよう依頼がありました。このようなことから、公園の美化およびゴミの減量化を進め、公園利用者の安全確保のため、ゴミ箱を撤去しました。ゴミは持ち帰る等公園美化啓発、マナーアップを推進したいと考えています。

提案：「ゴミ箱テロ対策のための防犯カメラも設置してほしいです。」について

【担当課：都市整備部 公園緑地課】

テロ対策として、国からの通達により、公園内のゴミ箱を撤去するなどの措置を講ずるよう依頼がありましたことからゴミ箱を撤去しました。市が管理する公園は都市公園と児童遊園があり、520余りあります。防犯カメラを設置するとなるとすべてが対象となることから、設置に伴う経費は、莫大な費用がかかり、また、管理運営方法、プライバシーの問題等があり大変難しいと考えています。ゴミ箱をなくし危険物を置かないように、見通しの良い公園を保つことでテロ対策になると考えています。公園利用者のみなさん一人一人がゴミを出さないよう気をつけていただくことが、公園利用者の安全確保に繋がると考えています。

提案：「若い人にも積極的にボランティアに参加できるような企画を市の方で作っていただきたい」
について

【担当課：市民活動部 協働推進課、学校教育部 学校教育課】

自分たちが住んでいる町は、自分たちの手で美しくしていこうということは、とても大切なことです。また、少ない人数でも、身近なところから始めていって、少しずつでもその活動の輪を広げていって、より多くの人たちが町全体で参加するようになるといいですね。ボランティア活動として町を美しくしていこうとする市の企画^{きかく}としては、子どもからお年寄りまで、より幅広い年齢^{ねんれい}の人たちが参加して道路の清掃^{せいそう}をおこなうアダプトプログラムというのがあります。同じくボランティア活動として公園の清掃^{せいそう}を^{せいそう}していただいている公園ボランティアというものもあり、近くで活動している団体の紹介^{しょうかい}もできると思いますので、協働推進課までご相談ください。その他に市内の小中学校の一部では、地域の美化活動や環境保全活動、イベントのお手伝いなどをするボランティアクラブができており、その活動は徐々にまわりの地域にも広がってきています。ボランティアクラブがない学校でも部活や生徒会^{ゆうし}有志等の児童生徒のみなさんが校区内外の地域で、様々なボランティア活動に参加して地域に貢献^{こうけん}しているケースも増えてきています。このようなボランティアクラブの活動を広げていきたいと思います。また、学校以外でも子ども会やボーイスカウト、ガールスカウトなど地域への奉仕活動^{ほうし}を行っている青少年団体もあります。みなさんがボランティアに関する情報を集めたり、情報を発信したりするには、奈良市のボランティアセンターやボランティアインフォメーションセンターという施設がご利用いただけます。そこにはボランティアコーディネーターという職員がいてボランティアについての相談や、情報の提供をしていますし、ボランティア団体どうしの交流もおこなっています。ぜひ一度来てみてください。そして、子どもたちや若い人たちが積極的にボランティア活動に参加していただきたいとも思いますので、奈良市ポイント制度の中に子どもたちや若い人たちが向けのポイント制度を設け、ボランティア活動を含めて地域の行事に参加したり、様々な施設にお手伝いに行ったりすることにポイントが付けられないかということを考えています。みなさんと一緒にボランティア活動の輪を広げていくきっかけを作りたいと思います。

関連事項：生徒会が中心に「ゴミを捨てないまちにしよう」というような意識改革を促すことからスタートしてはどうかと思います。また、三笠中学校の生徒会リーダー研修会は、すごくいい仕組みだと思うので、その範囲を広げたり発展させる方法を教育委員会と相談して考えてみたいと思います。

【担当課：学校教育部 学校教育課】

「町をきれいにしていこう！！」と思っている人はたくさんおられますし、自分の住んでいるところがきれいだとうれしいものです。児童生徒のみなさんが、もっと町をきれいにするために、自分たちの意見を話したり、計画を立てたりするために同じ世代の人たちとつながりを広めていきたいと考えていることをとても頼もしく感じます。きっと、みなさんが住んでいる地域の清掃活動^{せいそう}に参加すると、地域の方々は、「頼りになる」と喜ばれていると思います。奈良市全体でこのような児童生徒のみなさんの活動を進めていくために、奈良市内の各学校のつながりをつくることはとても大事であると思います。教育委員会は、みなさんが集まる機会をつくる、場所を提供するなどのお手伝いができるのではないかと考えています。具体的には、今までにも奈良市の児童生徒代表のみなさんで集まり、防災や安全について考える機会として、「防災生徒総会」を開いたことがあります。このような取り組みを発展させて、「町をきれいにするには」「障がい者にやさしいまちづくり」など、いろいろなテーマについて考える「〇〇生徒総会」という機会や意見交換^{ごうかん}・発表をする場をつくり、広く市民のみなさんへ発信^{けんとく}することを検討しています。実際に進めていくときには、児童生徒代表のみなさんや学校とも相談しながら考えていきます。

いじめNo！

提案：「みんなでコミュニケーションをとるための時間を学校でつくる。」について

【担当課：学校教育部 学校教育課（いじめ対策生徒指導室）】

「いじめ」をなくすためにできることをみなさんが真剣に考えてくれていることについて、とても力強く思います。「みんなでコミュニケーションをとるための時間をつくる」ことから、いじめの根絶や自分たちの命を守ることなどのルールづくりへと話し合いが発展していくことができれば、いじめをなくす大きな力になると思います。みなさんが考えてくれているように、一人一人ができることや、それぞれの思いや考えていることを伝え合う機会をもつことはとても大切なことです。それは、子どもに関わるまわりの大人にとっても大切なことなのです。教育委員会は、「いじめ」を自分たちの学校からなくすための取り組みを真剣に考えている児童生徒のみなさんがいることを学校や地域の方々に伝えていきたいと考えています。教育委員会としては、学校内でコミュニケーションをとる時間が必要であると考えているみなさんの提案を学校に伝え、校内でその時間をとってもらえるように学校と相談して進めていきます。また、「町をきれいに！！」というテーマのところでも回答していますが、児童生徒代表のみなさんや学校と相談しながら、いろいろなテーマについて学校間で意見交流ができるような機会をつくっていききたいと考えています。学校が児童生徒のみなさんにとって、安全に過ごせる、安心できる場所になるための取り組みをともに進めていきましょう。

提案：「カウンセラーの人がいじめられている人の意見を聞いたら、その人が所属している学校の先生に報告し、その学校の先生が行動するなどの方法をとる。」について

【担当課：学校教育部 教育相談課】

いじめは絶対に許してはいけません。いじめられている人は大変心が傷ついていきますから、なんとかいじめられている人を助けなければなりません。そのために、カウンセラーがいじめられている人の意見を聞いて、それを学校の先生に報告し、行動してもらうことはその人の安全を守るために重要なことだと思います。カウンセラーは相談に来た人が安心してできるように、その人としてしっかりと相談しながらいじめの解決のために学校の先生と協力していきます。カウンセラーに相談してみようという時に一番身近にいるカウンセラーがみなさんの学校のスクールカウンセラーだと思いますが、スクールカウンセラーに相談しにくかったり、相談してもうまくいかなかったりする場合もあると思います。その時は、教育センターにもカウンセラーがいますので、ぜひ相談してください。スクールカウンセラーは市立小中学校、高校に配置されています。また、スクールカウンセラーの人たちには研修を受ける機会があり、その機会にみなさんからの意見も伝えていきたいと思っています。いじめられて悩んでいる人は、まず一人で抱えず誰かに相談することが解決の糸口になります。相談する不安もあるかと思いますが、勇気を出して相談に行ってみてください。きっといじめられている人の悩みを解決する手助けになると思います。

※奈良市教育センター 奈良市三条本町13-1

（JR奈良駅西口から南へ約200m・はぐくみセンター内）

TEL 0742-93-8199（教育相談総合窓口）

提案：「市長が年に一度、学校に来て、その学校の様子を見る。」について

【担当課：学校教育部 学校教育課】

これまでも市長は運動会などの学校の行事、給食の様子の見学、英語やＩＣＴの授業参観など、機会があれば積極的に学校を訪問^{ほうもん}しています。これからも市長が学校の様子や雰囲気^{ふんいき}を見る機会もあると思います。また、みなさんが集まる会議等で機会を設けて話をすることも含めて検討^{けんとう}していきたいです。



奈良市を地球温暖化対策モデル都市に

提案：「建物の屋上や空き地などに植物を植えたり、育てたりする。」について

【担当課：環境部 環境政策課】

地球温暖化の原因は、二酸化炭素などの温室効果ガスがたくさん増えることによるためとされています。植物は空気中の二酸化炭素を吸収しながら成長するので、植物を植えることで、地球温暖化防止の効果がります。建物の屋上に植物を植えたり、壁に植物のつたをはわせることで、外の暑い空気や冷たい空気が部屋の中に入ることをふせぐことができるので、夏は部屋の温度を下げ、冬は室内の保温することができます。また、植物が根から吸い上げた水を葉から蒸気にして出すことで、気温が上がることをふせぐことができるため、省エネルギーの効果もあります。市役所の正面玄関やみんなが通う小学校でも、ゴーヤを植えて作っているグリーンカーテンを見た人もいます。また、プラネタリウムの見学ではぐくみセンターへ行ったことがある人がいるかもしれませんが、はぐくみセンターの屋上には植物が植えられています。環境講座や環境イベントなどで、緑を増やすことについてみんなで考えていきたいと思っています。

提案：「一般の人から地球温暖化対策の意見を聞く。」について

【担当課：環境部 環境政策課】

市では、市民の安全で健康な生活を守るために、ワークショップ委員として33人の市民の方に会議に参加してもらって「奈良市環境基本計画」を作りました。この計画を作る時には、市民や市内の会社や事務所を対象にアンケートも行いました。この計画は、インターネットを使って市のホームページで見ることができます。私たちの生活は便利で暮らしやすくなりましたが、地球温暖化の問題が大きくなっています。二酸化炭素などの温室効果ガスをできるだけ出さないように、みんなで努力することが必要です。そのために、どんなことができるか みなさんの意見を聞かせていただきたいと思います。

提案：「太陽光発電や電気自動車を設置したりする補助金がほしい」について

【担当課：環境部 エネルギー政策課】

太陽光発電を設置するための補助金については、平成22年度から平成24年度まで補助を行ってきました。平成26年度からは、補助金から変更して、価格が低めで10年以上の保証等がついたプランをモデルプランとして紹介して、家庭で安心して太陽光発電が設置できるように取り組んでいます。電気自動車などのエコカーを購入するための補助金については、公共交通であるタクシーやバスを対象に平成22年度から補助を行っています。家庭向けの補助については、市では行いませんが、国からの補助金があります。市は、電気自動車を充電するための充電ステーションを市内の10か所につくりました。これは、他のまちと比べると進んでいるところだと思います。

提案：「どのように活動しているのかインターネット、テレビ等で都市計画宣言をする。」について

【担当課：環境部 環境政策課】

市の環境政策の基本となる計画である「環境基本計画」の中で、奈良市のより良い環境の姿として「歴史と自然に恵まれ、環境と対話する安全・安心なまち・奈良」を掲げています。川の水や大気がきれいかどうか定期的に測定を行っています。小学校においている「奈良市の環境（こども版）」に測定の結果を載せています。また、「奈良市路上喫煙防止に関する条例」や「奈良市ポイ捨て防止に関する条例」「奈良市アイドリング・ストップに関する条例」を作って、世界遺産に登録されている春日大社や薬師寺などと、人が多く集まる近鉄奈良駅やJR奈良駅の周辺などの区域をパトロールして美化活動をしています。地球温暖化対策としては、雨水やお風呂の残り水を利用した「打ち水」や、「グリーンカーテン」・「マイバック推進活動」を行っています。環境についてみんなで考えてもらうために、「環境出前講座」を開いて学習をしています。みなさんの学校にもおじゃまして、小学校3年生のみなさんに「ECOキッズ！ならのこども」の授業をしています。地球温暖化を防止するために、どんな活動をしているのか、もっとたくさんの人に知ってもらえるよう考えていきます。



コンビニエンスストアのあり方

提案：「条例をつくる。（例 1,000ルクス程度に照度をおさえる。）」について

【担当課：観光経済部 商工労政課、環境部 エネルギー政策課】

照度の単位をルクスといい、およその目安は月明かりが1ルクス、ろうそくの火が10ルクス、^{けいこうとう}蛍光灯照明の事務所が400～500ルクスくらいです。みなさんがおっしゃっているコンビニ^{てんぽ}1店舗の照度は各コンビニエンスストアのフランチャイズ契約先の方針や、立地条件等で様々ですが、900ルクスであったり、1300～1500ルクスであるとのデータもあります。また、夜に店内を明るくしているのも照度が高いイメージを与える一つなのかもしれません。ただ、コンビニエンスストアも電気を無駄^{むだ}にしているとは思っていません。今までもコンビニエンスストアは、節電、節約に努めておられ、例えば、電灯をLEDに切り換え^かえたり、加熱する機器の保温する時の温度を下げたり、冷蔵庫の開け閉めを減らしたりするなど、さまざまな工夫をしておられます。一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会の報告によりますと、コンビニエンス業界全体の営業時間当たりのエネルギー消費量で、基準年度である1990年度と比較すると、2008年度～2012年度の平均値で、21.9%の削減を達成しています。このように、コンビニエンスストアの省エネに対する取り組みは一定の成果をあげており、照度をおさえるという点では、今はまだ条例をつくる時ではないと考えております。

提案：「条例をつくる。（例 夜の営業時間を減らす。）」について

【担当課：観光経済部 商工労政課】

コンビニエンスストアの夜間営業には様々なメリットがあります。例えば、夜のうちに商品を仕入れたり、並べたり、店内を掃除^{そうじ}したりしています。これらのうち、仕入れは自動車で行いますが、夜の方が道路がすいているのでガソリン代の節約や、排気ガス^{はいき}を減らすことにもなります。また、夜歩いていて、「怖い」と感じた時にコンビニエンスストアが開いていると、コンビニエンスストアに逃げ込むこともできます。現在奈良市内には約100店舗^{てんぽ}のコンビニエンスストアがあり、これらがいっせいに夜の営業をやめると、それだけ逃げ込む場所が減ることになります。また、仕事から帰る時間が遅い人は、夜にコンビニエンスストアが開いていると、買い物などが出来るため助かります。しかし、夜間営業にはメリットだけでなくデメリットもあります。夜遅^{おそ}くなりますと、コンビニ強盗^{ごうとう}等の犯罪にもあいやすくなり、また、騒^{さわ}いだりする人が集まってきて周辺住民へ迷惑^{めいわく}をかけることもあります。以上のように、コンビニエンスストアの夜間営業にはメリットもデメリットもあります。また、奈良市には海外や国内各地から多くの観光客の方々が訪れることも配慮する必要があり、もし営業時間を規制すると困る人がいたり、閉店する店舗^{てんぽ}も出てくるかもしれません。そうすると経済が冷え込む可能性もあります。今すぐに条例をつくって規制するというのではなく、ひとにも環境にもやさしいコンビニエンスストアのあり方について、何か良い方法はないか、みんなで考えていきたいと思います。

提案：「コンビニの跡地、店を閉める予定になる所を市が把握して、その中から安くおさまり、さらに立地が良い所、広さと作る施設の検討をする。その検討会議では、子供の参加者を集めておき参加者がコンビニ活用をしてくれる部署の方と意見交換をすれば良い。」について

【担当課：観光経済部 商工労政課、総合政策部 奈良ブランド推進課】

コンビニエンスストアのほとんどが、本社が所有者ではなく、個人のオーナーが所有していますので、提案されている「本社と提携^{ていけい}して」という効率的な方法はとりにくいと思います。また、「市が買い取る」という提案については予算も考えなければなりませんし、一度買って終わりという訳^{わけ}にはいきません。毎年建物を維持する経費^{けい}もかかります。また、市民の方の税金^{ぜいきん}を使いますので、公共性の高い活用方法を考えなければいけません。したがって、「市が買い取る」という提案については、難しいと考えます。少し視点を変えて考えてみますと、奈良市では、今年の10月から「空き家バンク制度」という制度を始めました。これは、所有者さんの物件を住居^かを兼ねた店舗経営や移住したい方に紹介^{しょうかい}する仕組みです。コンビニや空き家だけでなく、他にも工場や公共施設など空いた建物はたくさんあるかと思います。その活用方法をみんなで考えてみるのも面白いですね。今後、地域の活性化を進めるという面からも、奈良市の空き家や建物を利用して、みなさんのいろいろな意見や要望を積極的に取り入れ、こういった取り組み^{しえん}を支援^{しえん}していけるような制度^{じゅうじつ}を充実^{じゅうじつ}していきたいと思っています。



奈良市の財政

提案：「市営のイベントを開催し、そこに出店するお店の売り上げの何%かを市に納めてもらう。イベントの時間も夕方から夜にかけて開催し、そのまま宿泊していただけるようにする」について

【担当課：観光経済部 観光振興課】

市は行政だけでなく、市民、自治会やボランティア・NPOなどの市民公益活動団体、事業者、学校も、みんなが自分たちのまちをよりよくするために、共に考え、共に汗を流す参画と協働を本来のまちづくりのあるべき姿だと考え、各種イベントもボランティアのみなさんと一緒に準備をし、開催しています。市には平城京天平祭やなら燈花会、なら瑠璃絵など魅力的なイベントが数多くありますが、活力ある地域づくりや魅力ある観光地づくりを推進するため、地域資源を活用した地域振興又は観光客の誘致等を行う実行委員会等に対し、補助金を交付しています。イベントの開催費用は、出店店舗が実行委員会へ支払う出店料等の収入と補助金等で成り立っています。収入が増加すれば、それが自主財源となり、補助金を減らす、またはイベントの規模を拡大することが出来るので、間接的に市に費用を納入していただくのと同様の効果となります。また、イベントに観光客を誘客することで、出店店舗だけでなく、地元の商店街や交通機関、宿泊していただければ旅館・ホテル等で利益を出すことができ、その利益が税金という形で、市へ還元されています。「イベントの時間を夕方から夜にかけて開催し、そのまま宿泊していただけるようにする」というのは、非常に効果的な提案であると考えています。やはり、宿泊と日帰りでは、経済効果が大きく異なります。市でも宿泊につながるよう、早朝や夜の体験イベントに力をいれるため、夏に家族旅行を念頭に、JR西日本、近鉄、奈良交通と共同で「なつの奈良旅キャンペーン」を実施しています。早朝のイベントとして春日大社の「朝のお参り（朝拝）」や「なつの鹿寄せ」、午前中のみ開花する蓮の寺（喜光寺・唐招提寺・薬師寺）をつなぐ「ロータスロード」巡りに参加していただきました。また、夜のイベントとして奈良若草山夜間観賞バスの運行や、「夜の奈良公園・平城宮跡めぐり」のバスツアー、元興寺でのならまちナイトカルチャー「真夏の怪談」に参加していただき、朝・夜ともに好評でした。また、奈良市では誘客につながるため、観光情報等の発信に力を入れています。その一環として、高校生の視点から奈良の魅力を発信していただこうと、高校生のみなさんを観光特派員として委嘱し、市内のイベントに参加したときやクラブの遠征先や修学旅行、個人旅行などに出かけたときに、個人のブログ、SNSなどで、積極的に広く発信していただいています。引き続き、奈良に宿泊していただけるよう、奈良のPR活動を積極的におこない、早朝や夜の体験イベントに力をいれていきたいと考えています。

提案：「市から学校へどんなものが余っているかなどのアンケートをとってみる」について

【担当課：教育総務部 教育総務課】

ひとつの学校が大掃除をして要らないものが多く出た時、その中には他の学校が必要とするものがあるかもしれません。そんな時には、少しでも役に立ててもらおうと、他の学校に呼びかけ、必要なものを持ちかえり使用しています。また、近い学校同士で、余ったものを交換し合ったりして、無駄に捨てることのないように工夫をしています。全校でどんなものが余っているのか調べることは、もっと無駄をなくす取り組みとして良い提案だと思いますので、各学校にどんなものが余っているのか聞いてみて、余ったもので新しいものを買う仕組みづくりを考えます。また、市役所でも同じようなことをしています。例えば一つの課で棚が不要になれば、その棚を必要とする課がないか、確認し、必要なところで使うようにしています。そしてもう使わなくなった車などをインターネットの公有財産売却システムを使って売っています。今までに、市役所用の車など（ゴミ収集車や救急車、乗用車など）を売りました。このようになるべく無駄のないようにしています。

提案：「リニアを奈良に通さないで欲しい。京都との協力が必要。」について

【担当課：観光経済部 リニア推進課】

要望の理由として、「奈良を深く知ってもらいたい。深く好きになってもらいたい。」「大切なのは、また来たい！と思ってもらうこと。」「とご意見いただきました。これらは私達も全く同じ思いです。そして、そのためにこそ、私達はリニアが奈良市に必要なと考えています。確かに、リニアが出来るとすぐに奈良に来られるので、仕事等で奈良にくる人は、用事がすめばその日のうちに帰ることができます。その一方で、旅行や観光等で奈良に気軽に来られるようになり、多くの人に奈良にふれてもらえる機会が増えます。このことにより、奈良の魅力をもっと知ってもらえれば、大阪や京都のついでではなく、奈良が主目的の観光客が増え、それにともない宿泊者数も増えることが期待できます。また、奈良ファンの人にとって、これまで移動にかかっていた時間を、リニアが出来ることによって、奈良への長期滞在にまわすことができ、ますます奈良を好きになってもらえます。リニア誘致は奈良が注目をあびるチャンスなのです。これは、奈良にリニアの駅が出来さえすれば、観光客や宿泊客が増えるということではなく、リニアはあくまできっかけに過ぎません。リニアをきっかけに、多くの人に奈良を訪れ、魅力を知ってもらい、「また来たい」「宿泊したい」と思っただけかどうかは、これからの私達の取り組みにかかっています。私達は、リニアを誘致すると同時に、奈良の魅力を高め、国内はもちろん世界中に発信していきたい、そのためには市役所だけではなく、住民のみなさんとの協力が必要だと考えています。また、リニアは首都圏・中部圏・関西圏といった日本の三大都市圏を一時間で結ぶことで、国のあり方を変えとも言われています。奈良は奈良だけのことを考えるのではなく、関西全体や、国全体の事も考えないといけません。関西全体の発展のためには、周辺都市との協力も欠かせないと考えています。特に、ご提案いただいたとおり、日本の古都である奈良と京都が協力しあうことが、関西の発展には欠かせません。また、現在京都を通っている東海道新幹線が大きな地震などの災害や事故で使えなくなった場合、京都からはなれた別ルートでリニアがあれば損害を最小限におさえられます。国全体の事を考えても、リニアは京都ではなく、奈良を通らなければならないのです。先日、京都市、大津市とともに開催した都サミットをきっかけとし、今後、京都市をはじめとする都市とも、よりいっそう協力していきたいと思っています。そして、これからもリニア誘致を進めるとともに、リニアがふさわしいまちとして、まちづくりを進めていきたいと思っています。そのためには、みなさんにも、奈良市をもっと好きになっていただき、市のために今後ともぜひ、子ども会議やSNS等を活用し、積極的にご意見をいただきますよう、お願いします。

どうすれば公共施設（レジャー施設）が増えるのか？

提案：「奈良市にある若草山などの山々を有効活用するために山を整備して、新たな施設を作るといいと思います。（安心して利用できるキャンプ場や公園、空調設備の整った年中利用できる体育館のような施設）」について

【担当課：市民活動部 スポーツ振興課】

若草山、景色のいいところですね。なだらかな山腹が芝に覆われており、山頂には前方後円墳（鸕鷀古墳）もあり、そこからの景色は、新日本三大夜景のひとつに認定されています。山の自然を有効活用し、キャンプ場や新たな施設をつくるという事ですね。再度、山のあり方を考えてみましょう。木の伐採をすることにより緑が少なくなり二酸化炭素の吸収ができず地球が温暖化になってしまいます。またそこでは動物、鳥類・昆虫なども豊富に生息しており、住むところがなくなれば街に下りてきて畑を荒らしたり、人に被害を与えたりしてしまいます。さらに自然災害の発生も多くなるかも知れませんね。山には補水効果があります。根っこで地面をおさえ、水を溜め込んでゆっくり川に流がす役目をし、土砂崩れや山崩れを防いでくれます。このように、山は私たち人類にはなくてはならないところです。ちなみに、若草山の近くにはみなさんも知っている春日山原始林という世界遺産があります。古来春日大社の神山として信仰の場であったためほとんど斧を入れず原始性を保っております。周りとの調和を保つためにも若草山には体育施設やキャンプ施設をつくるのは難しいと思います。施設の空調完備もいいですが、せっかく奈良盆地に住んでいるので自然の四季を感じながらスポーツをしてはどうかと思います。

提案：「奈良市にある若草山などの山々を有効活用するために山を整備して、新たな施設を作るといいと思います。（安心して利用できるキャンプ場や公園、空調設備の整った年中利用できる体育館のような施設）」について

【担当課：教育総務部 生涯学習課】

少子高齢化の時代の中で新たに公共施設を作るとするのは、たくさんの費用が掛かってしまうため、難しい状況にあります。奈良市内にあるキャンプができる施設は、黒髪山キャンプフィールドと青少年野外活動センターの2施設あり、青少年を中心とした各団体・学校としての利用や家族連れで利用され、野外体験・自然体験等により自然を満喫して楽しんで頂いています。今後においてもより多くの子どもたちに安全・安心して利用して頂けるように、施設をきれいに修理・改修等充実しながら、また事業においても親子で楽しめるプログラム（ホテル鑑賞ウォーキングや魚のつかみどり&炭火焼で食べよう！生きもの調べ隊など）を実施していますが、今後も創意工夫しながら様々な事業を計画し、子どもたちが安全に楽しみながら体験学習ができる場所にしたいと考えています。

黒髪山キャンプフィールド 0742-71-8730
青少年野外活動センター 0742-93-0029

提案：「子どもがのびのび遊べる公園が欲しいです。（校区に1つか2つは大きい公園を作るか、空き地を上手に活用して大きい公園を作ればいい）」について

【担当課：都市整備部 公園緑地課】

子どもがのびのび遊べる大きな公園を校区に1つか2つ作るか、空き地を利用して作って欲しいという提案ですが、大規模な宅地開発の場合は、計画的に大きな公園と小さな公園が配置されています。しかし、それ以外の地区には、大きな公園が少ない状況です。新たに大きな公園を作ったり、空き地を利用することは、そのための土地を確保したり、土地の所有者やその周辺に住んでおられる方々の協力や理解が必要となりますので、難しいと思います。今ある公園は、大きさも様々であり、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方が利用されています。例えば、そこで硬いボールやサッカーボール等で遊ぶとボールが小さい子や高齢者に当たってケガをしたり、ボールが公園の外に転がって事故になったりする危険があります。また、実際に事故が発生した事例も過去にあります。このような理由で公園でのボール遊びは禁止していますが、市の方もただ禁止するのではなく、地域の方や公園を利用される方達で、公園利用について話し合い、公園を利用する年齢層や使用する目的ごとに時間調整をするなど、地域での公園利用ルールを作ることができれば、公園を有意義に、そして大切にに使っていただけたらと思います。ただ、そこには様々な問題があります。

- ① 住宅地の中にある公園は、学校のグラウンドに比べるととても小さいので、サッカーや野球など複数のボール遊びが同時にできない。（すべての人が同じボール遊びをしたいとは限らない。）
- ② 使用時間帯を決めると遊びたい時間に遊べなくなる。
- ③ 滑り台やブランコなどで遊んでいる小さな子どもにボールが当たりそうで怖い。
- ④ 公園の外にボールが飛び出て、近くの家之窗ガラスを割ったり、壁を傷つけたりしてしまうことがある。
- ⑤ 公園の外の道路ボールが飛び出て、ちょうど通りかかった単車や自転車がボールをさけて、転倒し、事故が起きることがある。過去に実際に死亡事故があった。
- ⑥ ボランティアの人が大切にお世話をしてくれている花壇にボールが入ってしまい、花壇を荒らしてしまうこともある。
- ⑦ もし使用時間を決めると、ボール遊びの時間帯はボールが当たらないか心配で、安心して公園を散歩したり、ベンチで休憩していられなくなってしまう。

公園は誰もが安心、安全に、公平に利用できる場所ですので、ボール遊びをしている子ども達自身がケガをした場合だけでなく、周囲にいる人々に与える影響も考えないといけません。公園利用ルールを作っていくには地域住民や公園周辺に住んでいる人達と十分に話し合い、フェンスなどの設備も含めて理解をしてもらう必要があります。地域の大人と子ども達がお互いに納得できるよう十分に話し合い、それぞれの地域で遊び中のケガ等は自己の責任になることも含めてルール作りをし、担当課である公園緑地課へ話してもらえば可能になるのではと思います。

提案：「テスト前などに自習できる図書館が近くにほしいです。」について

【担当課：教育総務部 図書館政策課】

自習室につきましては、夏休み期間中にクールスポットとして、中央・西部図書館の多目的室を自習室として開放しています。今後、図書館行事に支障のない範囲で、中央・西部両館において土日を基本に多目的室を自習室として開放していきたいと思っています。

提案：「学校以外で友達と集まれる場所がないから杉並区児童少年センター（ゆう杉並）のような施設を各校区につくってほしいです。または、公民館を開放して自由に自習したり通信ゲームをできるようにしてほしいです。」について

【担当課：教育総務部 生涯学習課】

現在奈良市には、学校以外で友達と集まれる杉並区児童センターのような施設はない状況ですが、「学校以外の子どもたちの居場所」は大切なところであり、今後考えていかなければならない問題であると思います。このような中で各公民館では、地域の子どもたちを対象に「地域の居場所づくり」や「地域の大人との交流の機会」とする講座等を公民館の自主グループ・地域にあるNPO法人や大学等の協力も得ながら開催しています。主な講座としてリサイクルものづくり・里山の自然観察・農業体験・理科実験・星空観察・映画鑑賞・音楽鑑賞・料理教室等を行っていますのでぜひ参加していただけたらと思っています。また、公民館の開放についてですが、生涯学習センターや一部の公民館で子どもたちが自習できるように開放している所もありますので確認の上ご利用ください。但し利用に当たっては、地域の皆様が使う施設であることから決められたルールを守り、学校の放課後や長期休暇期間中に利用ください。今後も子どもたちが参加したくなる講座等を計画し、子どもたちが公民館を学校以外の居場所として利用できるように色々な工夫をしながら取り組みたいと考えています。

提案：「市長に意見を言える場所があまりないので、もっと市長に直接意見を言える場所を増やしてほしいです。」について

【担当課：総合政策部 広報広聴課】

現在、市長に直接意見を言える場所としては、「地域ミーティング」というものがあります。これは、小学校区ごとに地域の代表の大人の人たちが市が行っている事業のことや地域のことについて、市長と話し合っ^{かいけつ}て解決しようとするものです。今、子どものみなさんが自分たちの意見を市長に届ける方法としては、「ご意見メール」や「市長への手紙」があります。市民のみなさんから奈良市役所に意見などをメールや手紙で提出してもらい、内容に応じて市役所の仕事の参考にしたり、市長が返事をしたりするものです。今後は、子どものみなさんの声を届けたいという気持ちに市長が直接会って応える場所と機会を作りたいと思っています。例えば、大人と市長が気軽に話し合える場の子ども版として「kidsシリーズ」を実施することを考えています。みなさんの要望や意見だけでなく、市長といろいろなことを話せる手段になればいいと思っています。



平成27年度奈良市子ども会議集合写真

第1回奈良市子ども会議開催時撮影（平成27年7月28日）

平成27年度奈良市子ども会議報告書

平成27年12月

【発行】

奈良市子ども未来部子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 FAX：0742-34-4798

E-mail：kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

『奈良市子どもにやさしいまちづくり条例』 の検証について

平成27年12月14日

子ども政策課

1 はじめに

奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会設置要領では、その所掌事項として次の3点が定められています。

- (1) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例（平成26年奈良市条例第51号。以下「子ども条例」という。）の規定に基づく事業等の実施状況の検証に関する事項
- (2) 子ども条例第12条に規定する子ども会議の運営に関する事項
- (3) 前2号のほか、子ども条例に基づく施策の推進に関し必要な事項

本日は、この所掌事項のうちの(1) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証についてご議論いただきたいと考えております。

2 「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」の検証について

奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証については、子ども条例第19条において次のように定められています。

(計画及び検証)

- 第19条 市は、この条例に基づく子どもに関する施策及び子どもの未来に影響を及ぼす施策について、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第61条に規定する市町村子ども・子育て支援事業計画（以下「計画」という。）において定めるものとする。
- 2 市は、計画を策定したときは、これを公表するものとする。
- 3 この条例の運用状況及びこの条例の規定に基づく事業等の実施状況について、奈良市子ども・子育て会議条例（平成25年奈良市条例第12号）第1条に規定する奈良市子ども・子育て会議（以下「会議」という。）において定期的に検証するものとする。
- 4 会議は、前項の規定による検証の結果を市長に報告し、これを公表するものとする。

この第19条第1項において、「この条例に基づく子どもに関する施策及び子どもの未来に影響を及ぼす施策」は「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」において定めるとされていますので、この子ども条例部会で行う「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」の具体的な検証対象は、「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」において記載されている事業（116事業）とします。

（ただし、子ども条例の規定に基づく事業でありながら、現時点の計画に含まれていない事業等があれば、今後の事業計画の見直しの際にご意見等をいただき、子ども条例部会の意見として子ども・子育て会議に挙げていきたいと考えます。）

3 「奈良市子ども・子育て会議」における事業計画の検証について

事業計画については、第11回奈良市子ども・子育て会議（平成27年7月29日開催）でもお示しましたが、総合的な評価・検証は子ども・子育て会議において行います。

その具体的な評価方法については、3つのポイントがあります。

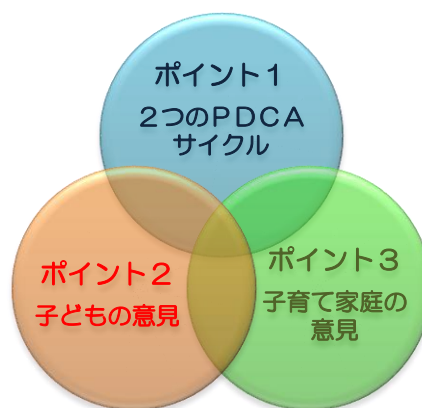
まず、「5年を1期としたサイクル」と「毎年度ごとのサイクル」の2つのPDCAサイクルの確保に取り組みます。特にCHECKの部分として実施計画に記載されている進捗管理事業の達成状況を把握し、それについて評価をしていただくことが中心となります。

2点目は、事業計画の評価を進めるにあたり、子どもの意見を取り入れるため、子ども会議で出された意見を子ども条例部会を通して、子ども・子育て会議に報告します。

3点目は、子育て家庭の意見を取り入れるため、事業計画の見直しのタイミングで子育て家庭へのアンケートを実施します。

【評価のポイント】

- (1) 2つのPDCAサイクル（進捗管理）
- (2) 子どもの意見（子ども会議）
- (3) 子育て家庭等の意見（アンケート調査）



4 「子ども条例部会」における事業計画の検証について

事業計画の評価の3つのポイントのうち、子ども条例部会では、「子ども会議」で出された意見を部会を通して、子ども・子育て会議に報告することとなっています（ポイント2）が、加えてポイント1についても、子ども条例部会として子ども条例の視点からの検証（子ども条例に書かれていることが実施できているか、子ども条例の目的にそって実施できているか等）をしてはどうかと考えております。

その検証を行うためのたたき台としての事務局案をお示しすることとします。

また、この案は事業計画の進捗を照会する際に子ども条例部会独自の項目を設けるというのですが、その照会結果についてどのようにまとめ、子ども・子育て会議に報告していくかについてもご意見等ございましたら、併せていただきたいと考えております。

事業計画に記載されている事業の進捗を担当各課に照会する際、その項目の一つとして「子ども条例第11条（子どもの意見表明及び参加の促進）の第1項及び第2項を満たしているか」を項目に含め、その結果を子ども条例部会において検証し、子ども・子育て会議へ報告する。

また、事業の進捗についての評価を進める中で、将来的には各事業についてだけでなく、条例の運用全体に関わることについてや条文自体の修正等についてもご意見等があれば、子ども条例部会の意見としてとりまとめ、子ども・子育て会議への報告に含めていく。

例)

奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第11条に基づく評価項目	評価
① 事業を実施するにあたり、子どもの意見表明や参加を促進するために、子どもの主体的な活動を奨励し、支援を行うよう努めましたか。	
② 子どもに関する施策について適切な情報を提供し、子どもが意見表明や参加する機会を設けるよう努めましたか。	

A：できた
B：少しできた
C：できなかった
D：子どもと直接関わる事業ではない

（子どもの意見表明及び参加の推進）

第11条 市、保護者、地域住民及び子どもが育ち・学ぶ施設の関係者は、子どもの意見表明や参加を促進するために、子どもの主体的な活動を奨励し、支援を行うよう努めるものとする。

2 市は、子どもに関する施策について、適切な情報を提供し、子どもが意見表明や参加する機会を設けるよう努めるものとする。

3 地域住民は、地域の活動及び行事等について、子どもが意見表明や参加する機会を設けるよう努めるものとする。

4 子どもが育ち・学ぶ施設の関係者は、施設の行事や運営等について、子どもが意見表明や参加する機会を設けるよう努めるものとする。